

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神医学と精神医療		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期 金曜2限	教室名	
担 当 教 員	三好 弘之	実務経験とその関連資格	精神科・心療内科の医療機関にて勤務する。当事者、家族及び地域にソーシャルワークを中心とした支援を行う。 研究テーマ:アルコール依存症における地域連携の構築について			
《授業科目における学習内容》						
・精神障害についての理解から始めます。 ・精神障害(精神疾患)の種類、特徴が最も重要で、次に精神症状や対応など障害者目線で取り組みます。 ・基本用語、精神症状を覚えることに留意します。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験 70% 出席評価 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
[精神医学と精神医療] 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
・授業内容によって必要資料の配布を行う。 ・授業ごとにテスト形式でまとめを行い、試験の対象としても使用する。						
《履修に当たっての留意点》						
・単語、用語の意味を覚えましょう！ ・記憶より理解するように心がけてください。楽しく笑いのある教室にしましょう！						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	・精神医学の内容を理解し、特徴を説明できるようになる。 ・近年の精神医学の状況を知り、今後に生かせるようになる。		・教科書 ・レジュメ	授業内容のふりかえりを行う
		各コマにおける授業予定	・教科書「刊行にあたって」、「はじめに」について説明する。 ・精神医学を学ぶ上での重要点、勉強方法を説明する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	・精神疾患の概略を説明できるようになる。 ・精神疾患の病名を覚えるようになる。		・教科書 ・レジュメ	授業内容のふりかえりを行う
		各コマにおける授業予定	・コンテンツに沿って教科書内容を説明する。 ・精神疾患名を説明する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	・精神医学・医療の歴史を説明できるようになる。		・教科書 ・レジュメ	授業内容のふりかえりを行う
		各コマにおける授業予定	・精神医学・医療の歴史を古代～近代にかけての講義。 ・日本の精神医学と精神医療についての講義。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	・神経について解剖生理を理解し、説明できるようになる。		・教科書 ・レジュメ	神経は理解が必要です。分からないことは質問してください。
		各コマにおける授業予定	・神経細胞の名称と機能についての説明をする。 ・中枢神経、末梢神経の分類について説明する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	・精神現象の生物学的基礎について説明できるようになる。		・教科書 ・レジュメ	授業での説明を参考に神経を理解してください。
		各コマにおける授業予定	・精神現象の生物学的基礎			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	・こころと脳の関係を理解し、説明できるようになる。 ・脳の働きと精神疾患発症の関係を理解できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	脳の解剖生理に関する資料を配布するので、参考にして下さい。
		各コマにおける授業予定	・精神現象の生物学的アプローチと心理的アプローチについて講義。 ・脳と精神現象についての関係を明確にする。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	・精神障害、精神病について説明できるようになる。 ・ICFについて説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	授業内容のふりかえりを行う
		各コマにおける授業予定	・健康と精神障害について、精神障害と精神病についての講義。 ・ICFの考え方についての講義。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	・ICDとDSMについて理解し、DSM-5、ICD-11について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	ICD、DSMは重要項目です。
		各コマにおける授業予定	・ICDとDSMについての講義。 ・ICD-11の現状について説明する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	・精神症状を理解できるようになる。 ・精神症状と精神疾患の関わりを理解できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	代表的精神症状を覚える。
		各コマにおける授業予定	・意識障害についての講義。 ・精神症状について説明し、特に重要な内容を選ぶ。 ・状態像、症候群についての講義。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	・精神科診断の手順、検査について理解し、身体検査、心理検査について種類、用途を説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	心理検査のまとめ資料を配布する。
		各コマにおける授業予定	・精神科診断場面を実技形式で行う。 ・精神科診断でのCT、MRI、心理検査についての講義。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	・器質性精神障害を理解し説明できるようになる。 ・認知症の種類や症状について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	認知症は重要項目です。認知症まとめプリントをよく読みましょう。
		各コマにおける授業予定	・器質性の意味を理解できるようにする。 ・認知症の中核症状と周辺症状についての講義。 ・4大認知症についての講義。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	・精神障害の概念について説明できるようになる。 ・てんかんの種類、症状について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	授業内容のふりかえりを行う
		各コマにおける授業予定	・精神障害の概念についての講義。 ・てんかんについての講義。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	・依存症について説明できるようになる。 ・精神作用物質の種類と特徴を説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	アルコール、薬物に関する資料を配布する。
		各コマにおける授業予定	・精神依存と身体依存についての講義。 ・アルコール依存と薬物依存についての講義。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	・統合失調症について説明できるようになる。 ・統合失調症の症状、治療について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	教科書の指定部分を読む。
		各コマにおける授業予定	・統合失調症の症状、原因についての講義。 ・ICD、DSMの病名、診断基準についての講義。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	・統合失調症の経過、予後、治療について説明できるようになる。 ・統合失調症の周辺疾患について説明できるようになる。	・教科書 ・レジュメ	統合失調症についての資料を配布する。
		各コマにおける授業予定	・操作的診断基準についての講義。 ・近年の治療内容についての講義。		